

小田 猛  
Takeshi ODA

嶋田 健雄  
Takeo SHIMADA

石塚 敦  
Atsushi ISHIZUKA

石崎 雅美  
Masami ISHIZAKI

武藤 一美  
Kazumi MUTOH

町民代表として『広報かいせい』の作成に携わっている「まちづくり情報特派員」の皆さん。今回は、「2021年」をテーマに話し合ってもらいました。

問 企画政策課 ☎84-0312



# 2021新春企画

# 特派員座談会

塚…石塚 崎…石崎  
嶋…嶋田 小…小田  
武…武藤 担…担当者

どうなる？開成町2021

小 コロナで急にリモートだなんだって始まって、どうなることかと思っただけ、こういうコミュニケーションの取り方もありだよ。特派員会議でもオンラインでやったり、議会でもタブレット端末を取り入れたりして。町が大きくなるわけじゃないかな。なんじゃないかな。



崎 対面ではできないコミュニケーションもありません。反対に、現実で人を集めるイベントは、開催の方法が悩ましいところだけ。開成町らしいスタイルをつくる最初の年にしたいですね。

塚 そうそう、イベントは2年連続で休むと、大抵そのまま終わっちゃうんだよ(笑)

崎 開催してみると気づかないけど、改めて町のイベントに関わる人の多さを感じましたね。

塚 阿波おどりだったら、踊り手、出店者、観覧者、それ

どうする？

広報かいせい2021

担 ここからは、広報担当者も参加します。お願いします。

嶋 もっと子どもを意識した紙面づくりも必要じゃないでしょうか。この間、孫の友だちに「広報に出てくるんだ！」って指さされてね。嬉しかったのと、子どもも意外と読んでるんだと感心したんです。取り上げる内容や表現の仕方も工夫したいですね。

塚 ここ数年で広報が読みやすくなったのは確かなんだよね。だからこそ、「税金」とか「議会」とか、一見ハードルの高い内容をどんどん取り上げていくべきだと思う。大人だって、意外と税金のことなんてわからないしね。それが、納税意識の向上とかまちづくりへの関心とかにつながるっていいんじゃないかな。



武 もっと子どもにも読んでもらうには、読むだけじゃない広報にしないと。クイズを出題して、答えを応募しても

それぞれの思いがある。町の一体感をつくるためにイベントが果たしてきた役割を見直す機会でもあるんじゃないかな。

武 いろんな行事が中止になって、一番影響を受けてるのは子どもたちかな。でも、残念がつてるのはかえって親の方で、子どもたちは代わりのイベントをどう楽しむかを考えてたりして。こんな状況でもたくましく生きてるなってつくづく感じました(涙)

小 子どもたちのことを考えると、去年は本当にもどかしい年だったよね。思い出と安全のどちらを取るかっていう考え方の衝突は、今年も続くんだろうけど。

嶋 早くワクチンを接種して、安心して過ごしたいですね。イベントと言え、提案があるのですが、いいですか？

一同 どうぞ(笑)



らうか。

担 読者参加型ですね。

武 そうそう。町の実際の場合とリンクさせて、ウォークラリーをやってみようのかもしれないじゃないか？

嶋 広報紙を持って歩いてる人がいたら、嬉しいよね。



崎 情報を流すだけじゃなくて、双方のコミュニケーション、ということですね。だからこそ、町民目線を意識することや、SNSとの連動がもつと必要だと思います。

小 SNSも、広報媒体としていろんな意見があると思うけど、時代に合わせて変わらなきゃね。新しいものを肯定的に考えた方が良くと思う。

崎 町のホームページも、なんか落ち着いちゃってますもんね(笑)

担 (ぎくっ！)

一般の人が農業に関われる方法はないでしょうか。環境対策や地域内の交流につながると思います。

武 ほんと、そう！もつと中部・南部の人たちが北部地域に来てくれれば、うちのお義父さんも喜ぶわ。一人であんなに広い畑を耕すのも本当に大変なのよ。農業体験とか、屋外だし、コロナ対策にもなるんじゃないかな？



お義父さん

小 土に触れるっていうのは、子どもたちにも本当にいいんだよ。

崎 町に新しく定住した人たちも、農業に高い関心があるかもしれないですね。そういう展望も、開成町から見えてくるんじゃないか。

塚 もともとある町の長所を生かすっていうことだね。農業体験もビジネスとして成立しなきゃいけないだろうけど、そういう事業のスタートアップのサポートこそ、行政の出番なんじゃないかな。

んから具体的なトピックが出ましたが、何か特集したい内容などありますか。

嶋 開成町は2市3町と接していますが、その境界がどうなってるのか、興味があるんです。何があるのか、どんな人が住んでいるのか。

武 「かいせいの果てまでイッテQ」的な？

担 採用(笑)。境界に沿って一周してみるなんてことも面白いですね。うちみたいな小さい町じゃないとできない。

塚 開成町だからこそできる企画も必要だよな。

崎 新庁舎がどんな感じなのか、気になってる読者はたくさんいると思う。事前に町民から質問を寄せてもらって、それに回答するなんていう形式も面白そう。



塚 いろいろと意見が出ましたが、今年も開成町と広報かいせいを盛り上げていきたいと思います。ありがとうございます。